

長野保健医療大学看護学部開設式

看護学部長 式辞

井部 俊子

長野保健医療大学看護学部は、長野市川中島に位置し広大な自然環境の中に完成した新校舎で開講いたします。本学を運営する学校法人四徳学園は、「徳風四海に洽く（あまねく）」を教育理念として、2001年に長野医療技術専門学校を開設、2015年には理学療法士・作業療法士を育成する長野保健医療大学保健医療学部として発展してきました。

人口減少が進行する超高齢社会を迎え、これからの長野地域の保健医療福祉基盤を充実・強化していくためには、この地域に豊富な知識・高度な技術をもち、人の心に共感でき、多くの専門職と協働できる看護職を養成する必要があると考えられて、看護学部が設置されました。

看護学部は、「豊かな人間性と広い見識を持って、地域住民の健康生活をサポートすることのできるケア提供者を育成する」ことを目的として、「看護の専門分野において、幅広い知識・技術・応用力を体系的に培う教育研究を行い、地域の多様なニーズに対応できる質の高い探求心を持つ看護師・保健師を育成いたします。」（学則第5条）

私は看護学部長として以下の運営方針を考えています。

- 1) 基本的には文科省に提出して許可された「施設、設備、教員組織等に関する設置計画」をベースとしてカリキュラムを進めます。
- 2) 教職員は、それぞれの経験をもとに、それぞれの経験をブレンドして創造することを促したいと思います。
- 3) これまでやりたいと思っていたけれどできなかったこと、よきことを実現するために挑戦します。
- 4) すべての営みが教育環境であることを自覚し、学生を一人の人間として尊重します。
- 5) そして教職員の皆さまとともに「チーム看護学部」さらに「チーム長野保健医療大学」をつくっていきたいと思います。

チームワークのよいチームがしていることは

- ①心理的安全性（チームメンバーは、リスクをとることを安全だと感じ、お互いに対して弱い部分もさらけ出すことができる。）
- ②相互信頼（チームメンバーは、他のメンバーが時間的に高いクオリティで成果を出してくれると知っている。）
- ③構造と明確さ（チームのなかでメンバーの役割、計画、目的が明確になっている。）
- ④仕事の意味（チームメンバーは、仕事が自分にとって意味があると感じている。）
- ⑤社会への影響（チームメンバーは、自分の仕事は意義があり、良い変化を生むものだと思っている。）であるとされています。

長野保健医療大学の初代看護学部長として、皆さまとともに、本学の新たな歴史を刻み、大学の使命を果たすために貢献することを誓います。